※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3016

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学 （通信）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「情報の科学」　（第一学習社）						
副教材等	教員作成プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・座学と実習を通して、コンピュータなどに対して理解を深めて活用できる力を身に付けてもらいます。
・座学では、情報モラルやコンピュータで扱う情報といった内容が中心となり、プリント学習だけでなく体験型教材なども踏まえながら学習していきます。
・実習では、文書作成・表計算活用・プログラミングといった内容を基礎から教えていくので苦手な人でも安心して取り組めるので最後まで諦めずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解する。
・情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する。
・情報の収集・処理・発信やプログラミングの基礎などの情報活用能力を身につける。
・情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的･基本的な知識を身に付け､社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 自己評価・相互評価 定期考査の結果 等	学習状況の観察 課題作品 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	社会と情報	・情報とその活用 ・情報社会の法と責任 ・情報化の光と影	○ ○ ○	○ ○		○ ○ ○	a:情報の重要性について知り、個人の権利や著作権について理解できたか。 b:情報の受信者、発信者としてのあり方について理解し、情報発信を行うときの情報モラルについて理解できたか。 d:情報とメディアについて整理して理解できたか。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査
前期	コンピュータと情報	・コンピュータで扱う情報 ・さまざまな情報の表現	○ ○	○	○ ○	○ ○	a: アナログとディジタルの違いについて関心を持つことができ、実習に積極的に取り組むことができたか。 b:アナログとディジタルの表現方法の違いについて判断することができたか。 c: １０進法から２進法への変換や ASCII コード表を用いて数字を文字に変換できたか。 d: コンピュータ内部の文字、画像、音、動画の表現、アナログとディジタルの特徴、コンピュータ内部での数値の表現について理解できたか。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査
前期	情報通信ネットワークと情報社会	・情報通信ネットワークの仕組み ・情報システム ・情報社会と安全性	○ ○ ○	 ○		○ ○ ○	a: 情報システムやコンピュータネットワークのしくみ、情報の効率的な伝送について関心を持つことができ意欲を持ち学んでいたか。 b:情報システムの実例やしくみ、プライバシー保護について理解できたか。 d: さまざまなセキュリティ侵害やセキュリティのための技術、安全性に向けての行動について理解できたか。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査

※令和３年度以前入学生用

後期	情報解決とモデル化	・問題とその解決 ・情報通信ネットワークと問題解決	○ ○	○	 ○	○ ○	a: 問題解決の手順、問題の定義について理解できたか。 b: 情報の収集と分析手法について理解し、評価・改選することができたか。 c: 表計算ソフトウェアを使用して、シミュレーションをおこなうことができたか。 d: 情報検索と問題解決について理解し、情報共有・コミュニケーションと問題解決について理解することができたか。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査
後期	データベースと処理手順の	・情報の蓄積・管理とデータベース	○			○	a: データベースとは何かについて理解できたか。リレーショナルデータベースについて理解できたか。 d: データベースの設計と正規化について理解し、データベースの活用について理解できたか	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。